

議員（隅岡 美子）

11番 隅岡美子 順次一般質問をさせていただきます。

一問一答方式でよろしくお願い致します。3点について質問致します。

1点目「带状疱疹を未然に防ぐために」について、2点目「子宮頸がん予防ワクチンの積極的勧奨の再開」について、3点目「アピアランスケア」についてでございます。

まず1点目の質問は、带状疱疹を未然に防ぐためにについてであります。

誰もが幸せに暮らすために健康であることは、とても大きな要因であり、健康寿命の延伸と不健康な期間の短縮や予防は極めて重要な課題であります。生涯を通して元気で充実した生活を送れるようにと、このコロナ禍で多くの方が願われているのではないのでしょうか。

子供の頃、水疱瘡（水痘）にかかった記憶のある方もいると思います。水疱瘡は一度罹り、治った後も実はウイルスは身体の中の神経節に生涯隠れていて、加齢による免疫力の低下や過労やストレスが引き金となって再発症することがあり、それが带状疱疹と呼ばれるものであります。

带状疱疹の原因となるウイルスは、日本人成人の90%以上の方の体内に潜んでいて、50歳を境に発症率は急激に上昇し、60歳代から80歳代でピークを迎えます。80歳までに約3人に1人が带状疱疹になると言われています。带状疱疹の予防接種は発症を完全に防ぐものではありませんが、発症しても軽症で済み、後遺症の予防に繋がるとされています。しかし、带状疱疹にワクチンがあることを知らない人が多く見受けられます。そこでお伺い致します。

1つ目、带状疱疹ワクチンの効果をどのように考えているのか、お伺い致します。答弁よろしくお願い致します。

町長（丸尾 幸雄）

隅岡議員の带状疱疹ワクチンの効果をどのように考えているのかのご質問に答弁をさせていただきます。

隅岡議員のおっしゃるとおり、幼少期に罹患した水痘、水疱瘡ですね、ウイルスが、加齢による免疫力の低下や過労、ストレスが引き金となり、80歳までに約3人に1人が再発症致します。带状疱疹は、痛みを伴う斑点と水疱が带状に生じる皮膚の病気で、通常、皮膚症状が治ると痛みも消失しますが、神経の損傷によって、その後も傷みが数ヶ月続くことがあると言われております。

带状疱疹ワクチンは、平成30年3月に海外製の乾燥組替え带状疱疹ワクチンが、50歳以上の带状疱疹の予防を効能・効果として、製造販売承認を取得し、令和2年1月から販売が開始されております。当該ワクチンの带状疱疹に対する有効性は、50歳以上で97.2%、70歳以上で89.8%とされており、ある程度の効果があると考えております。

以上、答弁とさせていただきます。

議員（隅岡 美子）

答弁でございました。

町長が今、ご答弁下さいましたように帯状疱疹は、非常に名前はね、聞くと思うんですけども、もっと言いますと体の左右、どちらか一方に最初はピリピリしたり、チクチクと刺すような痛みがあって、夜も眠れないほど激しい場合もあります。そして赤い斑点と小さな水膨れが神経に沿って帯状に現れることから、帯状疱疹と名づけられました。私の父も高齢になってから、この帯状疱疹に罹り、病院に長期入院したものですからよく分かるところがあります。そしてまた、私も最近気づいたんですけどもテレビのCMで帯状疱疹ワクチンのテレビコマーシャルが急に現れ出したのを感じております。これも50歳代からということで、すごくやっぱり大事やなって、全国的にこういうことが広まったら、いいのになって感じた次第でございます。

そしたら、それでは2つ目の質問に入ります。帯状疱疹ワクチンの周知と接種の推進はなされているのか、お伺い致します。

健康福祉課長（冨木田 笑子）

隅岡議員の帯状疱疹ワクチンの周知と接種の推進はなされているのかのご質問に答弁をさせていただきます。

現在、当該ワクチンは任意接種であり、本町においては周知及び積極的な接種の推奨は行っておりませんが、先ほど町長の答弁でお答え致しましたとおり、当該ワクチンの有効性は高いことから問合せや相談等がありましたら、帯状疱疹の症状及びワクチン接種の効果、副反応など説明するなどして、安心して接種して頂けるよう推進してまいりたいと考えております。

以上、答弁とさせていただきます。

議員（隅岡 美子）

答弁でございました。

これから、今のところは相談などは問合せがないという理解でよろしいかと思うんですけど。今後、おそらくそういったテレビ、また、そういった新聞等で、そういった帯状疱疹ということがいかに大事であるかということが掲載をされると思います。もしそういった相談が寄せられることが予想以上に、相談がされたらいいかなって思っております。もし相談があった場合は、窓口は健康福祉課の健康増進係でよろしいのでしょうか。お願いします。

健康福祉課長（冨木田 笑子）

隅岡議員の再質問にお答え致します。

現在新庁舎になりまして、保健センターの保健師が健康増進係として、新庁舎の方に一緒に座っておりますので、窓口の方においで頂くか、電話でお問合せ頂

きましたら、対応させて頂いております。

以上、答弁とさせていただきます。

議員（隅岡 美子）

答弁でございました。

また、3点目の質問に入ります。本町において町民の命と健康を守るという観点から、带状疱疹ワクチンの接種の助成をすべきと考えますが、ご所見をお伺い致します。よろしくお願い致します。

健康福祉課長（冨木田 笑子）

隅岡議員の本町においても町民の命と健康を守るという観点から、带状疱疹ワクチン接種の助成をすべきではないかのご質問に答弁をさせていただきます。

当該ワクチンは任意接種であり、現在、本町におきましては、全額自己負担で接種をして頂いております。県内では本年4月より、直島町が接種費用の4分の3を助成する事業を開始しております。本町におきましても、今後、国や近隣市町の動向等を注視しながら検討してまいります。

以上答弁とさせていただきます。

議員（隅岡 美子）

はい、ご答弁でございました。

まず、私が考えていることは、まず、带状疱疹とは何かということからスタートとして、広報とかそういった形でホームページとか広報とかそういった形で、まずそれを周知をして、普及啓発ですよね。そのことを周知を図っていくことが、まず第一歩であるんでないかなって考えておりますが、この点いかがでしょうか。お伺い致します。

健康福祉課長（冨木田 笑子）

隅岡議員の再質問に答弁させていただきます。議員おっしゃるとおり、周知、広報、啓発というのは非常に必要なものだと考えております。相談においでたから相談にお答えするだけではなく積極的にこちらからお知らせするように図ってまいります。

以上、答弁とさせていただきます。

議員（隅岡 美子）

ご答弁でございました。

本当にこれから、各市町の三木町の事例もありますけれども、これ以外に全国でも始めている。助成を始めているところがございます。そういったことも大いに参考にして頂き、本町も早く带状疱疹のワクチンが助成が出来たらいいなと思っております。それと带状疱疹の予防接種は2種類あるということがネットで、グーグル先生にお伺いしました。生ワクチンとそれから不活化ワクチンということで、2つあってどちらがいいとか、メリット・デメリットそれぞれありますけ

れども平成30年の6月に国の厚生科学審議会ワクチン評価に関する小委員会において、定期接種化を検討中のワクチンの1つとして挙げられております。導入年齢に関しては、今後検討が必要であるということでございます。また、地方創生臨時交付金の使途として、带状疱疹ワクチンへの助成は可能であるとの見解も示されております。発症を防ぐ意味から一定の年齢層を対象に、本町でも带状疱疹ワクチンの助成ということでございます。地方創生臨時交付金の使途として、带状疱疹ワクチンの助成はについて、このことについてお伺い致します。よろしくお願ひ致します。

健康福祉課長（冨木田 笑子）

隅岡議員の再質問に答弁させていただきます。

現在のところ助成を行っておりませんが、助成を行うに対しまして、コロナの対策の助成金を使うということについてはまだ今、検討したことがございませんので、今後、そのようなことを担当課とも相談しながら、助成をするかしないかというところから議論になりますけれども考えてまいりたいと思います。

以上、答弁とさせていただきます。

議員（隅岡 美子）

これは要望でございますので、よろしくお願ひ致します。

それでは2点目の質問に入ります。子宮頸がん予防ワクチンの積極的勧奨の再開についてであります。子宮頸がんは、子宮の入り口部分である子宮頸部に出来るがんで今も年間約1万人が罹患し、約2,800人が死亡しており、患者数・死亡者数とも近年増加傾向にあります。子宮頸がんの要因であるヒトパピローマウイルスHPVの感染を防ぐHPVワクチンは、国の2011年度からのワクチン接種緊急促進基金を活用し2013年に定期接種となり、小学6年生から高校1年生の女子は、接種を希望すれば無料で接種が可能になっています。ところが、接種後に全身の痛みなど副反応と疑われる報告が相次いだため、定期接種のまま厚労省は、同年6月から適切な情報が提供出来るまで、積極的な接種勧奨を中止致しました。接種率は大幅に低下し、19年度に接種した人は対象の1.9%と推計されております。昨年11月、厚労省専門部会で最新の知見を踏まえ、「安全性について、特段の懸念が認められない」「接種による有効性が副反応のリスクを明らかに上回る」と判断されたことから、厚労省が正式に再開を決めました。積極的勧奨が4月から約8年ぶりに再開をされました。勧奨を差し控えて、接種機会を逃した女性には、希望すれば公費で接種出来るキャッチアップ接種も行われます。キャッチアップ接種の対象は、勧奨差し控えの間に対象年齢を過ぎた1997年4月2日から2006年4月1日までに生まれた現在、16歳から24歳の女性で、合計3回の接種を受けてないことも条件であります。4月から25年3月までの3年間、無料で接種することが出来ます。そこで、お伺い致します。

1つ目、本町はこれまで、HPVワクチンの接種対象者に対して、どのような周知を行ってきたのか、お伺い致します。答弁よろしくお願い致します。

健康福祉課長（冨木田 笑子）

隅岡議員の本町はこれまでHPVワクチンの接種対象者に対して、どのような周知を行ってきたのかのご質問に、答弁をさせていただきます。

本町におきましては、国においてワクチン接種緊急促進事業が始まった2010年2月から対象者に個別に予診票を送付し接種勧奨を行い、定期予防接種を開始した2013年4月からも同様に接種勧奨をまいりました。

しかしながら、ワクチン接種と副反応との因果関係が特定されていないとして、厚生労働省からの勧告により、平成25年6月14日からは積極的な勧奨を控え、昨年11月に厚労省が積極的勧奨を再開するまでの期間は、接種を希望する保護者に対し、ワクチンの効果や副反応について説明し、理解して頂いた上で予診票の交付をまいりました。

以上、答弁とさせていただきます。

議員（隅岡 美子）

答弁でございました。次に2点目の質問に入ります。これまで、接種後に何らかの副反応があったか、お伺い致します。よろしくお願い致します。

健康福祉課長（冨木田 笑子）

隅岡議員の本町で、これまで接種後に何らかの副反応があったのかのご質問に答弁をさせていただきます。

本町における副反応被害は、現在のところ報告はございません。

以上、答弁とさせていただきます。

議員（隅岡 美子）

ご答弁ございました。三つ目の質問です。HPVワクチンの積極的勧奨が再開された場合、情報提供についてどのような周知方法を予定しているのか、お伺い致します。よろしくお願い致します。

健康福祉課長（冨木田 笑子）

隅岡議員のHPVワクチンの積極的勧奨が再開された場合、情報提供について、どのような周知方法を予定しているのかのご質問に答弁をさせていただきます。

本町における当該ワクチンの接種勧奨につきましては、令和4年4月1日より定期予防接種としての積極的勧奨を再開しておりますが、国が接種を推奨する標準年齢が中学1年生から高校3年生となっているため、当該年齢の対象者には予診票を個別に送付し、小学校6年生には、申し出のあった接種希望者に予診票を交付する対応をとっております。今年度につきましては、定期予防接種の対象の中学1年生から高校1年生の対象者365人に対し、予診票送付時に厚生労働省作成のリーフレットを同封致しました。また、町広報紙や町ホームページ、メール配

信等を活用し、ワクチンの安全性や有効性について広く周知を行っております。
以上、答弁とさせていただきます。

議員（隅岡 美子）

はい、ご答弁でございました。厚生労働省作成のね、リーフレットを同封致しましたということで、印刷をしてまいりましたけれども。厚生労働省の詳細版と概要版と2種類ございましたので、ちょっと画像をお願いします。こんな感じ。こういった感じで、これA4のこれは概要版です。HPVワクチンについて知って下さい。あなたと関係のあるがんがあります。ということで、これは概要版です。そして、また、その中でも詳細版ということがあります。この位で。はい。2種類カラー版でね、ありましたということをお伝えしたかったです。これはやはり大変大事なことで、やはり安全性が大事、また、スピーディーな対応が大事ということで、そういう風に私は考えておりますので、よろしくお願ひしたいと思います。それでその当事者に対して、宛名は、本人はもちろんですけども、どういった宛名の、何々世帯主の名前書いて、その下に対象者の名前を書いて送付するんでしょうか。お願いします。

健康福祉課長（冨木田 笑子）

隅岡議員の再質問にお答え致します。

議員おっしゃるとおり、世帯主の名前と対象者本人の名前でお送りさせて頂いております。

以上、答弁とさせていただきます。

議員（隅岡 美子）

何でその質問したかと言いますと、やはり、おうちの方が受け取って、その本人の名前で来とんですけど、おうちの方が開けて本人に知らせなかったとか、そういったことのないようにして頂けたらなど。ということで、そういったことをお伺い致しました。

続いて、4つ目の質問です。定期接種対象年齢以外への救済制度が導入された場合、情報提供について、どのような周知方法をお考えなのか、お伺い致します。

よろしくお願ひ致します。

健康福祉課長（冨木田 笑子）

隅岡議員の定期接種対象年齢以外への救済制度が導入された場合、情報提供について、どのような周知方法を考えているかのご質問に答弁をさせていただきます。本町におきましては、積極的接種勧奨を控えていた期間に接種の機会を逃された方が、公費で接種できるキャッチアップ接種の対象者は651人いらっしゃいます。これらの方にも、定期予防接種の対象者と同様、予診票送付時にリーフレットを同封し、接種勧奨を行うとともに町広報紙やホームページ、メール配信等を活用し、ワクチンの安全性や有効性について広く周知を行っております。

以上、答弁とさせていただきます。

議員（隅岡 美子）

はい、ご答弁でございました。これ1回送付します。で、やっぱり受診率向上のためにコールリコール、再勧奨というのがございますよね。電話とかで。これも、該当するんでしょうかね。はい、お願いします。

健康福祉課長（富木田 笑子）

隅岡議員の再質問に答弁させていただきます。

積極的勧奨が始まったのは、この4月からでございますので、現在のところまだ予診票を送った段階でございます。これからの接種率とか問い合わせによりまして、その辺り考えていきたいと思っております。

以上、答弁とさせていただきます。

議員（隅岡 美子）

ご答弁でございました。各種がんの受診率は50%と目標がございますので、しっかりと、また、事後になるんですけど、そういったコールリコール、手紙とか電話で受診勧奨、再受診勧奨を促して頂けたらと思います。よろしくお願い致します。

続きまして、3点目の質問に入ります。3点目の質問は、済みません。5点目の質問しておりませんでした。済みません。HPVワクチンの定期接種対象年齢を過ぎたため、自費で接種費用を負担された方への助成をどのように考えているのか、お伺い致します。よろしくお願い致します。

健康福祉課長（富木田 笑子）

隅岡議員のHPVワクチンの定期接種対象年齢を過ぎたため、自費で接種費用を負担された方への助成をどのように考えているのかのご質問に答弁をさせていただきます。

現在、当該予防接種の積極的勧奨を差し控えていた約8年間に、数名の方が自費で接種をされていると想定しております。今後、公費による償還払いの対象とするかどうかにつきましては、近隣市町の動向を注視し、検討してまいりたいと考えております。

以上、答弁とさせていただきます。

議員（隅岡 美子）

大変失礼致しました。ご答弁有難うございました。

それでは、3点目の質問に入ります。アピアランスケアについてであります。聞きなれない言葉ですが、アピアランスとは、広く、外見や見た目を表す言葉です。アピアランスケアとは、手術や治療が原因で起こる頭髪等の脱毛や皮膚の爪の変形、手術の傷痕など外見の変化に起因する患者の苦痛を軽減するケアのことです。国立がん研究センターによると、抗がん剤治療中の患者に身体症状の苦痛

度を伺ったところ、とりわけ乳がんの女性患者では、外見の変化に関する項目として、1位が頭髮の脱毛であり、まつ毛、眉毛の脱毛、足の爪の剥がれなどが上位に挙げられました。さらに外見の変化により、約4割の方が外出の機会が減った。人と会うのが、おっくうになった。と日常生活に大きな影響を与えている現状があります。がん治療等の副作用による容姿の変化の心理的負担は大きく、社会参加の減少、就業困難などに繋がると考えます。また、乳がん化学療法を受けられた日本人女性1,500人を対象とした調査では、脱毛を経験した患者の88%がウィッグを使用しているそうです。本町においても、がんと闘われている方もおられると思います。香川県は新年度予算に、がん患者医療用補正具助成事業として、20歳から39歳、若年がん患者に対し、がん治療による外見変貌を補う補正具の購入費用を新規事業として計上、補助対象は全頭用ウィッグ、胸部補正具について補助率3分の1、上限は補正具の種類ごとに1万円、1人につき2万円までとしております。私は、大変すばらしい取組だと思っております。悩みを抱える方々にとって大きな朗報であると思います。

そこで、お伺い致します。1つ目、本町において、アピアランスケアについてのお考えをお伺い致します。ご答弁よろしくお願い致します。

健康福祉課長（富木田 笑子）

隅岡議員の本町におけるアピアランスケアについての考えについてのご質問に答弁をさせていただきます。

本町におけるがん検診は国の指針に則り実施しておりますが、各種がん検診の受診率は、国や県の受診率を上回っております。また、測定結果が正しいものとなるよう、精度管理も確実にを行い、がんの早期発見に努めております。特に乳がん検診につきましては、令和3年度では47名が要精密検査の対象となり、4名のがん患者が発見されております。

隅岡議員のおっしゃるとおり、がん治療を受けられる方の中には治療の負担に加え、外見の変化により、身体的、心理的負担や苦痛を伴い、社会参加や就職にも大きく影響されている方もいらっしゃいます。そういった方々の相談先は主に医療機関であり、本町の保健師への相談は今のところございませんが、アピアランスケアについて広報周知に努め、保健師が身近な存在として、悩みや困り事について気軽に相談して頂ける環境づくりと施策の充実に努めることが重要と考えております。

以上、答弁とさせていただきます。

議員（隅岡 美子）

ご答弁でございました。私もこの質問をする時に、アピアランスケアって何っていうところから始まりました。またまだ、アピアランスケアという言葉自体も、まだまだ、ご存じない方も多くなってこのように感じております。そうい

ったことで認知度が低いことがあり、適切な情報が得られておりません。まず、情報を提供することが大切であると考えております。どのような今後取組をされるのか、いかがでしょうか。よろしくお願い致します。

健康福祉課長（富木田 笑子）

隅岡議員の再質問に答弁させていただきます。

このアピアランスケアにつきまして、本当に町内でもまだ周知はされておられませんし、このことについて取り上げるという機会が今のところございません。今後、この言葉と同時に、そういう患者さん方のお話を聞いたりする場を設けながら、勉強していきたいと考えております。町ホームページ、広報とかホームページで色々と町民の皆様に周知していきたいと考えております。

以上、答弁とさせていただきます。

議員（隅岡 美子）

ご答弁でございました。

また今、課長が申されてましたように本当にそうだなと思っておりますので、今後、期待をして取組をよろしくお願いしたいと思っております。要望でございます。次の2つ目の質問に入ります。県の補助対象は、20歳から39歳の若年層に限定されております。同じ悩みを抱える、より多くの町民に対応するため、県の対象以外の年齢層まで範囲を広げるよう、町独自の補助は出来ないのか、お伺い致します。ご答弁よろしくお願い致します。

健康福祉課長（富木田 笑子）

隅岡議員の県の補助対象は、20歳から39歳の若年層に限定されているが、同じ悩みを抱える、より多くの町民に対するため、県の対象以外の年齢層まで範囲を広げるよう、町独自の補助は出来ないのかのご質問に答弁をさせていただきます。令和4年4月より県が、がん患者医療用補正具助成事業を開始しておりますが、県が行った調査では今のところ、県内市町では「検討なし」若しくは「検討中」であります。本町におきましても、今後、近隣市町の動向を注視しながら検討してまいります。

以上、答弁とさせていただきます。

議員（隅岡 美子）

ご答弁でございました。課長のただ今のご答弁の中から質問をさせていただきます。がん患者医療用補正具助成事業、県の事業でございますが、県内市町で検討中と、あるという、文言が入っておりましたが、恐れ入りますが、分かる範囲で結構ですので、検討中はどこなのか教えて頂くことって可能なんではないでしょうか。お願いします。

健康福祉課長（富木田 笑子）

隅岡議員の再質問に答弁させていただきます。

今、手元に資料がございません。検討中の件数は分かっておりますけれども、具体的にどちらであったかというのは、今、持ち合わせておりませんので、お答え出来ません。答弁とさせていただきます。

議員（隅岡 美子）

また答弁の方、よろしくお願い致します。これもホームページから出したんですけど、高松市が今、補助、色んなリーフレットを出しております。まず、たくさんあるんですけど、まず、画像をお願いします。まず、爪に影響が出ますと言われたらどのようにしますかとか、安心安全でなくて、このようにしたらいいですよとか、具体的なアドバイスを示されておるパンフレットでございます。

次に、次は肌に影響が出ますと言われたらということでこれも2枚ありますね。いつもと同じか、ほんの少し丁寧にケアをすれば大丈夫ですよという風に書いてございます。これとか、そして最後、眉毛、まつ毛も抜けます。と言われたらということで、焦らないで、少しの工夫と練習で目立たなくなります。ということで、これも2枚に渡って詳しく対処方法など、詳しく書いてございます。こういったことで高松市もリーフレットを出しておりますので、ぜひ、本町においても、まだまだ、検討中のところまではいきませんが、今後に期待をして、しっかりと安全安心、住んでよかったと言える多度津町を目指し、さらに頑張って議員共々、町民の皆様のご要望をしっかりと心にとめて、しっかり頑張っていかなければならないんだと、このように思っております。

以上で、11番、隅岡 美子の一般質問終わります。

ご答弁有難うございました。